

Digital Mixer DM20

取扱説明書 Ver1.00



©2018 Sound House Inc.

目次

安全上の注意
はじめに
基本仕様4
製品仕様
各部の名称
操作手順
入力チャンネル
MIC 入力チャンネル
Input Stage
EQ 設定10
ダイナミクス系設定11
入力チャンネル Bus センド設定13
出力ステージ設定14
ステレオチャンネル15
入力ステージ設定16
出力バス設定17
入力ステージ
出力ステージサブ19
セットアップ
メンテナンス
メンテナンス
Patch 設定
メーター
FX
FX モジュール設定
モジュレーション
ディレイ
リバーブ
GEQ
Scenes $(\dot{\nu} - \dot{\nu})$
レコーダー
モニター
WiFi 設定
WiFi モードログイン

APモードログイン	35
アプリケーションをダウンロード	36
信号フローチャート	38
保証書	39

安全上の注意



このラベルがある部分には手を触れないでください。感電の恐れがあります。



このラベルがある部分の操作、メンテナンスを行う場合は関連するマニュアルを お読みください。

- ① 感電防止のため、トップカバーを開けないでください。
- ② 本製品に液体がかからないよう、また雨中や湿度の高い場所で使用しないでください。
- ③ ヒーター、ストーブなど、高温になる物の近くに設置しないでください。
- ④ アースピンをカットするなど、電源プラグを改造して接続しないでください。
- ⑤ 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
- ⑥ 付属品やアクセサリーはメーカー純正の物をお使いください。
- ⑦ 落雷の危険性がある場合や、長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ⑧ 本製品を廃棄する場合は、市町村のルールに従ってください。
- ⑨ 通気性の良い場所に設置してください。

はじめに

この度は、CLASSIC PRO DM20 をご購入いただき、誠にありがとうございます。DM20 は、 高度な機能を持つデジタルミキサーです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い いただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

基本仕様

- マイク入力x12、ステレオ出力x2
- S/PDIF 入力 x 1、S/PDIF 出力 x 1、AES/EBU 出力 x 1
- チャンネルバスx16、モノラル出力バスx4、ステレオ出力バスx5、ステレオ モニターバスx1
- XLR 出力 x 8 (チャンネル選択可能)
- ステレオモニター出力 x1、ヘッドホン出力端子 x1
- 7インチ 1024 x 600 タッチスクリーンモニター
- 内蔵エフェクトモジュールx8
- USB x 2: ステレオ録音/再生、システムアップグレード、キューファイル・イン ポート/エクスポート
- キューメモリー搭載
- ポップアップ・スクリーンキーボード
- iPad リモートコントロール (USB WiFi アダプター使用)

製品仕様

モデル名	DM20
入力	マイク入力 :XLR 端子x8、コンボ端子x4
	ステレオ入力:2 系統(モノラルフォン端子x2)
	S/PDIF 端子、USB 端子
入力チャンネル・	ゲイン(フェイズ)、ディレイ、ハイパスフィルター、4 バンド
ステージ設定	パラメトリック EQ、ノイズゲート、コンプレッサー、L/R パン、
	エフェクト
出力	XLR 端子x8(チャンネル選択可能)、AES/EBU 端子x1
	S/PDIF 端子x2、ステレオヘッドホン出力端子x1、モニター
	アウトフォン端子
内蔵シグナルジェネレ	ホワイトノイズ、サイン波、ピンクノイズ
ーター	
ファンタム電源	48V、各チャンネル個別に On/Off 可能
USB インターフェイス	WAV ファイル再生/録音、システムアップグレード、シーン
	保管、USB WiFi アダプター接続
ディスプレイ	7 インチ 1024x600 IPS 高解像度タッチスクリーン搭載
AD/DA サンプル	最大 192kHz/24 ビット
レート	
サンプル周期	48kHz
DSP	第4世代 ADI 40ビット浮動小数点 SHARC プロセッサー
	450M 搭載
エフェクト	エフェクトモジュールx8(リバーブx2、モジュレーションx2、
	ディレイx2、15 バンド GEQx2
OS	カスタム Android オペレーションシステム使用
ネットワーク	外付け USB ネットワークデバイス使用
iPad から	可能
リモートコントロール	
内部アンプ出力	無し
電源	DC12V 4.17A 50W
寸法	幅 429mmx奥行き 335mmx高さ 83mm
重量	3.2kg

各部の名称



- ① S/PDIF 入出力端子、AES/EBU 出力端子
- ② USB2.0 インターフェイス
- ③ ヘッドホンボリューム
- ④ ヘッドホン端子
- ⑤ マスター出力 16 バンドレベルメーター
- ⑥ 電源スイッチ:電源を On/Off
 * On/Off 時は 3 秒以上長押ししてください。1 秒間押すと表示が消えて全てのボタンがロックされます。
- ⑦ SETUP、BACK、COPY、PASTE、PLAY/PAUSE
 SETUP: システム設定ページを表示
 BACK: システム設定メンテナンス・メニューからメインに戻る
 COPY、PASTE: チャンネルパラメーター設定をコピー/ペースト

PLAY/PAUSE: USB にあるオーディオソースを再生/停止

- ⑧ コントロールノブ (パラメーター調整つまみ)
- ⑨ INPUT1-8、INPUT9-12、BUS1-8、SEND 切り替えボタン INPUT1-8: 入力 1-8 選択 INPUT9-12: 入力 9-12 選択 BUS1-8: バス 1-8 選択 SEND: チャンネル・バスセンドモード切り替え
- ③ メインフェーダー、SEL、SOLO、MUTEボタン SELECT: 全チャンネル・レベルメーター及びメインチャンネル出力レベル表示 SOLO: メインチャンネル・キューをモニター M (MUTE):メインチャンネルをミュート メインフェーダー: メインチャンネルをコントロール
- MIC1-8: マイク入力 XLR 端子 1-8
- 12 MIC9-12: マイク入力コンボ端子 9-12
- ③ ステレオ入力: (モノラルフォン端子x2) x2系統
- ⑭ 7インチ高解像度タッチスクリーン
- 15 フェーダー (チャンネル 1-8)、SEL、SOLO、M (MUTE)
- 16 チャンネル表示ラベル



DM20 Mixer リアパネル

- ① 専用電源アダプター接続端子
- ② ステレオモニター出力
- ③ OUT1-8: XLR バランス出力

操作手順

入力チャンネル

DM20 にはモノラル入力 x 12、ステレオ入力 x 2、S/PDIF 入力 x 1、USB 入力 x 2 が搭載 されています。

MIC 入力チャンネル

MIC 入力チャンネルでは5つのモジュールを選択することができます。

- Input
- EQ
- Dynamics
- Bus
- Output



モジュールのエリアをタップすると、ポップアップが開きます。「X」ボタンを押すと画面が閉じます。

- ① Input:48V ファンタム電源設定、ゲイン(フェイズ)、ディレイ、HPF、エフェクトを 設定します。
- ② EQ: チャンネルの EQ 設定及び Dynamics カーブを表示します。
- ③ Dynamics: チャンネルの Dynamics カーブを表示します。

- ④ Bus: 各バスチャンネルへのセンドレベル設定及びバスに送った入力信号の状態を 表示します。バスチャンネル名、プリポスト切り替え、レベル、パンなどが表示 されます。
- ⑤ Output: チャンネル名、パン、Solo、Mute、フェーダーレベル設定、メーターレベル情報を表示します。

「CHx」を2度続けて押すと、キーボードがポップアップしてチャンネルの名前を変更する ことができます。

Mic IN Modul 1 (1) ABY HPF EQ	4810	CF	H 1 🕲 🕟	
	Gain	Del	lay	HPF
	REV 3	0.0ms		IN (5)
		Ins. 6	ert	
CH 1	Modul 1	Delay 1	Reverb 1	GEQ 1
50/50 L&R SQLO	Modul 2	Delay 2	Reverb 2	GEQ 2

Input Stage

- ① 48V ファンタム電源を On/Off します。
- ② チャンネル選択: Фボタンをタップして前後のチャンネルを選択します。
- ③ Gain: REV をタップすると位相(フェイズ)を反転します。
- ④ Delay: ディレイを有効にします。ディレイの調整はコントロールパネルの コントロール・ノブで行います。ノブを押しながら回すとディレイを細かく調整する ことができます。ディレイの調整範囲は0~200ミリ秒(初期設定は0ミリ秒)です。
- ⑤ HPF (ハイパスフィルター): HPF を有効にします。HPF の調整はコントロール パネルのコントロール・ノブで行います。ノブを押しながら回すと微調整することが できます。HPF の調整範囲は 16Hz~400Hz(初期設定は 16Hz)です。
- ⑥ Insert: インサート・エフェクトを設定します。各チャンネルの EQ 前にエフェクト
 モジュールが追加されます。エフェクトモジュールはあるチャンネルで選択されると、

他のチャンネルで選択することはできません。すでに選択されたモジュールを 他のチャンネルで選択しようとすると次のメッセージが表示されます。

[Are you sure you want to use the module forcibly now? Yes No]

他のチャンネルで選択していたモジュールを解除し、現在のチャンネルで使用 する場合、Yesを選択します。

Bus1~Bus8、L&Rにおいては2つまでエフェクトモジュールを選択することができます。



EQ 設定

- ① チャンネル選択: 設定するチャンネルを選択します。
- ② Bypass: EQ をバイパスします。もう一度押すと EQ がオンになります。
- ③ Flat: EQ グラフのカーブをフラットにします。
- ④ 4 バンド EQ グラフ: 4 つのキー周波数(20Hz~20KHz)をグラフィカルに表示 します。グラフの任意のポイントを選んでゲイン、キー周波数、Q 値のパラメーターを 調整することができます。
- ⑤ High、High Mid、Low Mid、Low: 4 つの周波数領域を選択します。
- ⑥ パラメーター設定:コントロールパネルのコントロール・ノブ、または画面の タッチノブを操作してゲイン、周波数、Q値のパラメーターを設定します。コントロール ノブを押しながら回すと細かい設定が可能になります。
 Q...: 選切した思述教気はつばくいた思士1810 増減できます。(初期は 0 IP)

Gain: 選択した周波数領域でゲインを最大 18dB 増減できます。(初期値 0dB)

Freq: 4 バンドフィルターのキー周波数を設定します。 初期周波数の初期値は HF: 4kHz、HMF: 1kHz、LMF: 200Hz、LF: 60Hz Q: 4 バンドフィルターのバンド幅を 0.5 から 10.0 の範囲で調整します。初期値は 0.5 です。

⑦ Library: EQ 設定の保存、読み込みを行います。「▽」ボタンを押すとポップアップ・ ウィンドウにファイルリストが表示されます。その中からファイルを選択して EQ 設定を読み込み、変更を行います。設定を変更した後、「Save」ボタンを押すと ポップアップ・ウィンドウが開き、ファイルリストが表示されます。全部で 16 の ファイルから 1 つを選択することができます。保存したいファイルを選択して キーボードから名前を入力します。Confirm を選択して保存します。Cancel を 押すと、変更は保存されず EQ 設定に戻ります。



ダイナミクス系設定

- ① チャンネル選択: 設定するチャンネルを⇔で選択します。
- ② Side Chain: 現在選択されているチャンネルのゲートやコンプレッションを 別チャンネルの信号でコントロールします。「▽」ボタンを押してサイドチェーン・ チャンネル(CH1-CH12)を選択します。サイドチェーン・チャンネルは他の チャンネルの Pre/PostEQ を選択することができます。
- ③ Gate (ゲート)

「IN」ボタン:ゲートを有効にします。

ゲートカーブ:Y軸はスレシホールド、X軸は時間を表します。

パラメーター設定:パラメーター設定は画面内のスライダー、またはコントロール ノブにより行います。コントロールノブを押しながら回すと細かい設定が可能です。

Threshold (スレシホールド):ゲートのスレシホールドを-80dB から 0dB の範囲で 調整します。初期値は-80dB です。スレシホールドよりも小さい信号はカットされ ます。結果としてスレシホールドを超えた信号だけが聴こえます。 Hold:ホールドタイムを設定します。2~2000 ミリ秒(初期値 2 ミリ秒) Attack: アタックタイムを設定します。0.5 ミリ秒~100 ミリ秒(初期値 3 ミリ秒) Release: リリースタイムを設定します。2 ミリ~2 秒(初期値 350 ミリ秒) Depth: スレシホールド以下の信号の減衰レベル(0~-80dB)を決めます。初期値は -80dB

④ Compressor (コンプレッサー)

IN: コンプレッサーを有効にします。

パラメーター設定: パラメーター設定は画面内のスライダー、またはコントロール ノブにより行います。コントロールノブを押しながら回すと細かい設定が可能です。 Threshold (スレシホールド): コンプレッサーのスレシホールドを-80dBから OdB の範囲で調整します。初期値は-20dBです。スレシホールド以下の信号は コンプレッションされません。スレシホールド以上の信号は設定した範囲まで減衰します。 Ratio: 信号がスレシホールドレベルにさしかかった際の入力・出力レベルの比率を 調整します。1.0~20.0 (初期値 1.0)

Attack: スレシホールド・レベルを超えた信号にコンプレッションされるまでの タイムを設定します。0.5~100 ミリ秒(初期値 25 ミリ秒) Release: 信号がスレシホールド以下になった時、コンプレッションが停止するまでの

時間で調整します。20 ミリ秒~5 秒(初期値 350 ミリ秒) Gain: 圧縮された信号の最終的な出力レベルを調整します。-12dB~+12dB

Gam. 圧縮された信号の最終的な出力レベルを調整します。「12dB~+12d」 (初期設定 0dB)

⑤ Library: ダイナミクス系(ゲート、コンプ)の設定、保存、読み込みを行います。 「▽」ボタンを押してファイルリストを表示することができます。パラメーター 変更の後、「SAVE」ボタンを押すとポップアップ・ウィンドウが開き、ファイル リストが表示されます。(初期状態では空欄です)。16のファイルから1つを選択する ことができます。保存したいファイルを選択してキーボードから名前を入力します。 Confirm を押して保存します。Cancel を押すと、変更は保存されず EQ 設定に戻り ます。 ⑥ Bypass: ダイナミクス系をバイパスします。もう一度押すとバイパスが解除され、
 設定が有効になります。

入力チャンネル Bus センド設定

入力チャンネルを 4ch モノラルバス、4ch ステレオバス、L/R マスターバスに送ります。



- ① チャンネル選択:設定するチャンネルを選択します。
- ② Bus センド: 信号を送るバスを選択します。もう一度押すと選択を解除します。
- ③ PreFader/PostFader スイッチ:一度押すと PostFader (ポストフェーダー) に 変わります。初期設定は PreFader (プリフェーダー) になっています。
- ④ PAN コントロール: 選択したバスのパンを調整します。初期値は 50|50 です。 パン位置の調整は画面内のつまみ、またはコントロールノブを使用して行います。
- ⑤ 信号レベル:信号レベルの調整を行います。

出カステージ設定

PAN、Solo、Mute、Fader、Level Meter を含む出力ステージの調整を行います。

Mic IN INSERT 469 IN 1975 EQ	(d) CH 1	00	0
		Fader -80.0 dB	Meter Clip +12
Bus 1 Bus 2 Bus 3 Bus 4	PAN 2 50 50	10	0 - 12
CH1			- 24 - 36
-80 dB PAN 50/50 L&R	Solo 3 Mute	-00 0	- 48 - 60

- ① チャンネル選択:設定するチャンネルを選択します。
- ② PAN: タッチノブ、またはコントロールノブを使用してパン調整を行います。
 初期値は 50|50 です。
- ③ Solo: 選択されているチャンネルのみモニターすることができます。
- ④ Mute: 選択されているチャンネルのみミュートすることができます。
- ⑤ Fader: スライダー、またはコントロールノブを使用してフェーダーレベルを調整 します。
- ⑥ Level Meter: チャンネルのポストフェーダーレベルを表示します。

ステレオチャンネル

ステレオ入力チャンネルの調整を行います。5つのモジュール(入力ステージ、EQ、 ダイナミクス系、Bus センド、出力ステージ)を調整することができます。



入力ステージ設定



- ① チャンネル選択: 設定するチャンネルを選択します。
- ② SUM: ステレオ入力端子の一方だけにプラグを接続した場合、「SUM」ボタンを 押すと接続したチャンネルの信号をもう一方のチャンネルにも送ります。
- ③ **REV**: 位相が反転されます。
- ④ Trim:入力レベルを調整します。画面のタッチノブ、またはコントロールノブを 使用して調整します。トリミングの範囲は-20dB~20dB(初期値は 0dB)です。
- ⑤ HPF: HPF (ハイパスフィルター)を有効にします。タッチノブ、またはコントロール ノブを使用して調整します。HPF 調整範囲は 16Hz~400Hz (初期値は 16Hz)です。
- ⑥ Insert: エフェクトを付加します。各チャンネルの EQ 前にエフェクトモジュールを 追加します。エフェクトモジュールはあるチャンネルで選択されると、他のチャンネルで 選択することはできません。すでに選択されたモジュールを他のチャンネルで選択 しようとすると次のメッセージが表示されます。

「Are you sure you want to use the module forcibly now? Yes No」 他のチャンネルで選択していたモジュールを解除し、現在のチャンネルで使用する 場合、Yes を選択します。

Bus1~Bus8、L&R においては 2 つまでエフェクトモジュールを選択することができます。

出力バス設定

DM20 は出力バスとして出力 x 14、モノラルバス(バス 1~バス 4) x 4、ステレオバス x 5 (バス 5~8、マスターL&R) を利用可能です。初期画面ではバス 1~8 を表示します。

OUT 1							OUT
EQ		EQ.	EQ	EQ	EQ	EQ	EQ
CH 1 CH 2 CH 3 CH 4	0H1 CH2 0H3 CH4	CH3 CH2	CH1 CH2	CH1 CH2 CH3 CH4	CH3 CH2	CH1 CH2 CH3 CH4	
0							
Bus 1 -80 dB PAN 50/50	Bus 2 -50 ds PAN 50/50	Bus 3 -60 dB PAN 50/50	Bus 4 -80.48 PAN	Bus 5 -50 dB BAL 50/50	Bus 6	Bus 7 -80 48 BAL 1 50/50	Bus 8 -eo dii BAL so/so
BOLO MUTE	SOLO MUTE	SOLO	SOLO MUTE	SOLO MUTE	SOLO MUTE	SOLO MUTE	SOLO MUTE

- ① 入力ステージ:バスに割り当てられた出力とエフェクトを表示します。
- ② EQ: バスの EQ カーブを表示します。
- ③ 入力ソース:バスに接続されたチャンネルを表示します。
- ④ 出力ステージ:バスの名前、PAN/BAL 値、SOLO、MUTE、DELAY、フェーダーレベルの設定を行います。
- ※③と④のエリアをタップするとバスの名前を変更することができます。
- ※ モノラルバス:バス1~バス4はモノラルバスです。

入力ステージ



- ① チャンネル選択: 設定するチャンネルを選択します。
- ② Bus センド: チャンネル信号をバスに送ります。
- ③ PreFader/PostFaser 選択
- ④ パン・コントロール:初期設定は50|50。タッチスライダー、またはコントロール ノブにより設定します。
- ⑤ センド・レベルコントロール: タッチスライダーにより信号レベルを設定します。
- ⑥ Insert: エフェクトを付加します。各チャンネルの EQ の前にエフェクトモジュールを 追加します。エフェクトモジュールはあるチャンネルで選択されると、他のチャンネルで 選択することはできません。すでに選択されたモジュールを他のチャンネルで選択 しようとすると次のメッセージが表示されます。

[Are you sure you want to use the module forcibly now? Yes No]

他のチャンネルで選択していたモジュールを解除し、現在のチャンネルでそのまま 使用する場合、Yes を選択します。

Bus1~Bus8、L&R においては 2 つのエフェクトモジュールを選択することができます。

出カステージサブ

Delay、PAN、Solo、Mute、フェーダーレベル、信号レベルを表示設定します。



- ① チャンネル選択:設定するチャンネルを選択します。
- ② Delay: 「IN」ボタンを押してディレイを設定します。タッチノブ、またはコントロール ノブにより設定します。設定範囲は0ミリ秒~200ミリ秒(初期値は0ミリ秒)です。
- ③ PAN: タッチノブ、またはコントロールノブを使用してパン調整を行います。初期値は 50|50です。
- ④ Solo: 選択しているチャンネルのみモニターすることができます。
- ⑤ Mute: 選択しているチャンネルのみミュートすることができます。
- ⑥ Fader: タッチスライダー、またはコントロールノブを使用してフェーダーレベルを 調整します。
- ⑦ Level Meter: チャンネルのポストフェーダーレベルを表示します。

セットアップ



- ① シーン:シーンの名前を表示します。
- ② システム・インフォメーション:DSP ソフトウェアのバージョンを表示します。
 WiFi リモートコントロールに使用する IP アドレスもここに表示されます。
- ③ サンプルレート:「44.1KHz」ボタンを押すとポップアップが開き、「The Sample Rate of 44.1KHz is only used for Digital Outputs (サンプルレート 44.1KHz は デジタルアウトプットだけに適用されます)」が表示され、Yes を選択すると 「44.1KHz」が点灯、「48.0KHz」は消灯します。初期設定は 48.0KHz です。
- ④ Delay Unit: ディレイの単位を ms (ミリ秒)、ft (フィート)、m (分) から選択します。
 初期値は ms (ミリ秒) です。
- ⑤ System: 「Maintenance」、「Home Screen」、「SetupWiFi」からシステム設定を 行います。詳細は Maintenance を参照してください。
- ⑥ Brightness: タッチスクリーンの明るさを6段階に調整します(初期値は3)。設定 した明るさは保存され、電源を消しても保持されます。
- ⑦ Crossover: BUS 8 「IN」ボタンを押すとクロスオーバーが働き、BUS 8 はベース モードになります。BUS 8 左側にあるタッチノブによりクロスオーバー周波数を 調整することができます。フィルタースロープ:24dB/oct。周波数調整範囲:40Hz ~300Hz。
 - ※ 設定しても BUS8 の表示は元のままです。

Master L/R「IN」ボタンを押すと Master L/R のクロスオーバーが働き、フルレンジ、 ローカットモードになります。Master L/R 右のタッチノブによりクロスオーバー 周波数を調整することができます。フィルタースロープ:24dB/oct。周波数調整範囲: 40Hz~300Hz。

BUS8 と Master L/R のクロスオーバーを制御することにより 2.1 チャンネル出力 モードを作ることができます。

メンテナンス

メンテナンス



- Update from USB: 始めに USB ポートにアップデートプログラムを入れた USB メモリーが挿入されていることを確認します。このボタンを押すとポップアップが開き 「After the update the System will reboot automatically. Are you sure you want to update the System?(システムソフトウェアをアップデートするとシステムは 自動的に再起動されます。システムソフトウェアをアップデートしますか?)」の メッセージが表示されます。「Install」ボタンを押してアップデートを開始します。
- ② Factory Reset: このボタンを押すとポップアップが開き「Do you want to do a Factory Reset? This reset your settings to factory defaults. The system will

restart automatically after finishing, then press "Factory Reset"(システムを 工場出荷時の状態に戻しますか?システムは自動的に再起動されます。)」のメッセージが 表示されます。長い期間にわたりシステムを使用していると画面での操作が遅くなる 場合があります。その場合、「Factory Reset」を実行するとシステムが初期化され、 画面操作スピードが元に戻ります。

※「Factory Reset」実行前に重要なパラメーターはUSBメモリーに保存してください。

- ③ Toggle Dev Mode:開発者向けメニューです。開かないでください。
- ④ Android Home Screen:開発者向けメニューです。開かないでください。
- ⑤ Import Settings:開発者向けメニューです。開かないでください。
- ⑥ Export Settings:開発者向けメニューです。開かないでください。
- ⑦ Time Settings:システム内部時計の設定を行います。
- ⑧ Save Log:本製品開発者向けメニューです。開かないでください。

Patch 設定

8chアナログ出力、S/PDIF、USB出力に割り当てるバスを選択します。

モノバス (バス 1〜バス 4) x 4、ステレオバス x 4 (バス 5L〜バス 8R)、マスターL/R バスを割り当てることができます。



 CUSTOM: CUSTOM1~CUSTOM3を押すとカスタムモードに切り替わります。 出力(OUT1~OUT8)に「▽」を押してバスを割り当てます。設定は自動的に 保存されます。
 ※S/PDIFペアとUSBペアはステレオバス、またはマスター出力バスを選択することが できます。一方でアナログ出力x8は14種類のバス、どれでも割り当てることが できます。

※バスの割り当てはシステムを再起動しても変わりません。

② Default: 初期設定モードではバス 1~バス 6 を OUT1~OUT6 に割り当てることができます。マスターL/R は OUT7~OUT8、S/PDIF OUT、USB OUT に割り当てることができます。

メーター



入力、出力チャンネルの信号レベルを表示します。

入力チャンネルは IN、PreFader、PostFader から 1 つを選択して信号レベルを表示します。 初期設定は PreFader です。出力チャンネルは PreFader、または PostFader から選択して 信号レベルを表示します。初期設定は PreFader です。

各出力レベルの右下にはポートに割り当てられたバス名が表示されます。



Classic Pro		
Setup		
Patch	Modul 1 Delay 1 Reverb 1 GEQ 1	
Meter	Modul 2 Delay 2 Reverb 2 GEQ 2	
FX	Russes	
Scenes	Modul 1 Delay 1 Bus 1 💎	
Recorder	2	
Monitor		

FX (エフェクト) 画面から 8 種類のエフェクトモジュール (モジュレーション x 2、 ディレイ x 2、リバーブ x 2、15 バンド GEQ x 2) を選択できます。全てのモジュールは 入力チャンネル、またはバスチャンネルに割り当てることができます。エフェクトモジュールは あるチャンネルで一度選択されると、他のチャンネルで選択することができません。入力 チャンネルには1つ、バスには2つのエフェクトモジュールを割り当てることができます。

- エフェクトモジュール:エフェクトモジュールを選択すると各種パラメーターを 設定する画面が表示されます。
- ② バス選択:「▽」を押して割り当てるバス(バス1~バス8、マスターL/R)を選択 します。選択したバスにエフェクトモジュールが既に割り当てられていた場合、 モジュール名が2つ、左右に表示されます。すでに選択されたモジュールを他の チャンネルで選択しようとすると次のメッセージが表示されます。
 「Are you sure you want to use the module forcibly now? Yes No」

他のチャンネルで選択していたモジュールを解除し、現在のチャンネルでその モジュールを選択する場合、Yes をタップします。

FX モジュール設定

FX(エフェクト)画面から下記 8 種類のエフェクトモジュール(モジュレーション x 2、 ディレイ x 2、リバーブ x 2、15 バンド GEQ x 2)を選択できます。

Module 1/Module 2/Delay 1/Delay 2/Reverb 1/Reverb 2/GEQ 1/GEQ 2

モジュレーション



- Module (モジュール): 左右のボタンを押しFX モジュールから Module1/Module2 を 選択します。
- ② Type (タイプ):「▽」ボタンを押して FX タイプを選択します。
 Chorus Slow/Chorus Fast/Flanger Slow/Flanger Fast/Celeste Slow/Celeste Fast/Rotor Slow/Rotor Fast
- ③ Dry/Wet:スライダー、またはコントロールノブによりドライ/ウェットを0~100 (初期値 0)の範囲で調整します。
- ④ EQLS: LS カーブを表示します。
 Gain:タッチノブ、またはコントロールノブにより±18dB(初期値 0dB)の範囲で ゲインを調整します。
 Freq: タッチノブ、またはコントロールノブにより 20Hz~200Hz(初期値 100Hz)の範囲でゲインを調整します。
- ⑤ EQ HS: HS カーブを表示します。
 Gain:タッチノブ、またはコントロールノブにより±18dB(初期値 0dB)の範囲で

ゲインを調整します。

Freq: タッチノブ、またはコントロールノブにより 1.5KHz~15KHz(初期値 6.3KHz)の範囲でゲインを調整します。

⑥ 他のパラメーター
 Speed: スライダー、またはコントロールノブによりドライ/ウェットを0~100
 (初期値 0)の範囲で調整します。

Pre Delay

Intensity: タッチノブ、またはコントロールノブにより 50~200(初期値 100)の 範囲で FX 強度を調整します。



ディレイ

- Module (モジュール): 左右のボタンを押して FX モジュールから Delay1/Delay2 を 選択します。
- ② Type (タイプ):「▽」ボタンを押して FX タイプを選択します。
 One Echo 1/4、Two Echo 1/8、Three Echo 1/16、
 Three Echo 1/16 delayed、Four Echo 1/16、One Echo 1/4、4Reflect
- ③ Dry/Wet:スライダー、またはコントロールノブによりドライ/ウェットを0~100 (初期値 0)の範囲で調整します。
- ④ EQLS: LS カーブを表示します。
 Gain:タッチノブ、またはコントロールノブにより±18dB(初期値 0dB)の範囲で ゲインを調整します。
 Freq: タッチノブ、またはコントロールノブにより 20Hz~200Hz(初期値 100Hz)の

範囲でゲインを調整します。

 ⑤ EQ HS: HS カーブを表示します。
 Gain:タッチノブ、またはコントロールノブにより±18dB(初期値 0dB)の範囲で ゲインを調整します。
 Freq: タッチノブ、またはコントロールノブにより 1.5KHz~15KHz(初期値 6.3KHz)の範囲でゲインを調整します。

⑥ 他のパラメーター

Factor: スライダー、またはコントロールノブによりドライ/ウェットの割合を 0~13 (初期値 1) の範囲で調整します。

Tempo: タッチノブ、またはコントロールノブにより 40~240BPM(初期値 80)の 範囲でテンポを調整します。

Tap Tempo: 指でタップしてテンポを決めます。連続して3回以上タップしてください。 Delay Time: タッチノブ、またはコントロールノブにより0~2000ms(初期値 750ms)の範囲でディレイ時間を調整します。

ディレイタイムは Factor と Tempo により決めることができます。Factor により 大まかに設定し、Tempo により詳細に設定します。

例: Factor を 8、Tempo を 120BPM に設定すると、ディレイ時間は

60*1000/120=500ms

Factor を9にするとTempoは60BPM、ディレイ時間は

60*1000/60=1000ms

Factor を7にするとTempoは240BPM、ディレイ時間は

60*1000/240=250ms

Factor	拍子
1	1/24
2	1/16
3	1/12
4	1/8
5	1/6
6	1/4
7	1/2
8	1
9	2
10	3
11	4
12	5
13	6

Feedback:入力に対してフィードバック減衰率を設定します。スライダー、または コントロールノブによりフィードバック減衰率を0~90(初期値0)の範囲で設定します。

リバーブ

Classic Pro			(
Setup	Reverb10 D	Type S	elect 🙆 ₍
Patch	EQLS	EQ HS	Dry 100.0 Wet
Meter	a	••	
FX	-18 20 200 20K	-16 20 1500 20K	6
Scenes			Time
Recorder	Colo Erec		
Monitor	0.0 dB 100.0 Hz	0.0 dB 6.30 kHz	

- Module (モジュール): 左右のボタンを押して FX モジュールから Reverb1/Reverb2を選択します。
- ② Type (タイプ):「▽」ボタンを押して FX タイプを選択します。
 Hall Bright/Hall Warm/RoomBright/Room Warm/Plate Bright/Plate Warm
- ③ Dry/Wet:スライダー、またはコントロールノブによりドライ/ウェットを0~100 (初期値 0)の範囲で調整します。
- ④ EQLS: LS カーブを表示します。
 Gain:タッチノブ、またはコントロールノブにより±18dB(初期値 0dB)の範囲で ゲインを調整します。
 Freq: タッチノブ、またはコントロールノブにより 20Hz~200Hz(初期値 100Hz)の 範囲でゲインを調整します。
- ⑤ EQ HS: HS カーブを表示します。
 Gain:タッチノブ、またはコントロールノブにより±18dB(初期値 0dB)の範囲で ゲインを調整します。
 Freq: タッチノブ、またはコントロールノブにより 1.5KHz~15KHz(初期値

6.3KHz)の範囲でゲインを調整します。

⑥ 他のパラメーター

Time: タッチノブ、またはコントロールノブにより 0~15 秒(初期値 8 秒)の範囲で リバーブタイムを設定します。リバーブタイムとタイプの関係を次の一覧に表します。

タイプ	最小	最大	初期値
Hall Bright	0.8s	12.0s	1.6s
Hall Warm			
Room Bright	0.4s	8.0s	0.8s
Room Warm			
Plate Bright	0.4s	6.0s	0.6s
Plate Warm			

GEQ



- Module (モジュール): 左右のボタンを押して FX モジュールから GEQ1-GEQ2 を 選択します。
- ② Library: Library: EQ 設定の保存、読み込みを行います。「▽」ボタンを押すと ポップアップ・ウィンドウにファイルリストが表示されます。その中からファイルを 選択して EQ 設定を読み込み、変更を行います。設定を変更した後、「Save」ボタンを 押すとポップアップ・ウィンドウが開き、ファイルリストが表示されます。全部で 16のファイルから1つを選択することができます。保存したいファイルを選択して

画面内のキーボードから名前を入力します。Confirm を選択して保存します。 Cancel を押すと、変更は保存されず EQ 設定画面に戻ります。

- ③ GEQ チャート:周波数毎にフェーダーを使用してゲインを調整します。
 20Hz、50Hz、100Hz、180Hz、300Hz、450Hz、620Hz、850Hz、1KHz、1.5KHz、
 3KHz、5.6KHz、9KHz、14KHz、20KHz とそれに対応したゲイン(初期値0)を
 調整します。
- ④ 操作:
 Bypass: EQ をバイパスします。
 Flat: 各周波数のゲインを0にします。各フェーダーの位置が中央にセットされます。
- ⑤ フェーダーグループ・ボタン:操作するグループ(1-8、9-16、17-24、25-31)を選択します。

Scenes(シーン)

ClassicPro		
Setup	Scene List	
Patch	No Sel Name Time Delete	Rename
Meter	Сору	New
FX	Save	Load
Scenes	Import	Export
Recorder		Down
Monitor	Prev Next	

 Scene リスト:シーン番号、選択、名前、作成/変更時間を設定します。 操作:シーンを選択すると背景がグレーに変わります。
 Delete:シーンを消去します。「Delete」ボタンをクリックすると「Are you sure you want to delete this scene?(シーンを消去しますか?)」が表示されます。消去する 場合は「Yes」、キャンセルする場合は「No」を押します。
 Rename:シーンの名前を変更します。「Rename」ボタンを押すとキーボードが 画面内にポップアップしてシーンの名前を入力、変更することができます。最後に 「Confirm」ボタンを押して確定します。

Copy: 選択したシーンをコピーします。コピーするシーンを選択して「Copy」ボタンを 押します。自動的にシーン名(オリジナル名_copy)を付けて保存します。コピーした シーンがオリジナルシーンの下に表示されます。

New:新しいシーンを作成します。「New」ボタンを押すとリストの一番下に新しいシーンが作成されます。

Save: 選択中のシーンに入力チャンネルや EQ 設定など、現在のコンソールの設定を保存します。

Load: 選択したシーンを読み込み、保存したコンソールの設定を再現します。

Import: USB メモリーからシーンを読み込みます。「Import」ボタンを押すと ポップアップが開き「Compress file list」select scene* list beneath "Compressed file list"」が表示されます。リストからシーンを選択するとシーンが読み込まれ「Import success」が表示され、「Confirm」ボタンを押すと選択されたシーンが USB メモリー から読み込まれます。USB メモリーが見つからない場合、「No USB stick detected, please reconnect and try again.」が表示されます。USB メモリーにシーンが保存 されていない場合、「Scenes file not found on USB stick!」が表示されます。もし、 読み込まれたシーン名がコンソールにあるシーンと同じ場合、自動的に名前が「元の シーン名_USB」に変えられて保存されます。

Export: DM20 に保存されているシーンを USB メモリーに転送します。「Sel」ボタン を押して転送するシーンを選択し「Export」ボタンを押します。転送が終了すると 「Export success」が表示され、「Confirm」ボタンを押して完了します。もし USB メモリーが見つからない場合、ポップアップ「No USB stick detected, please reconnect and try again.」が表示されます。

Up: 選択したシーンを一段上に移動し順番を入れ替えます。 Down: 選択したシーンを一段下に移動し順番を入れ替えます。 Prev: 現在選択しているシーンの1つ前を選択します。 Next: 現在選択しているシーンの1つ後を選択します。



- プレイヤー:再生しているファイル名の名前と再生時間が表示されます。
 再生、停止、前トラック、巻戻し、次のトラック、早送り、リピート、録音ボタンが
 用意されています。
- ② 再生、録音レベルメーター
- ③ 再生リスト: USB メモリーに保存されている音源ファイルがリスト表示されます。
- ④ 録音:マスターL/R の信号が USB メモリーに録音されます。

モニター

Oscillator, Monitor/Phone, Solo

Classic Pro						8
Setup		Oscillator	On	Мо	nitor/Phones	Clip
Patch	Type White noise	1	Destination	Mute	2	+12 0
Meter	Sine wave Pink noise	0	Bus 2	-20.0 dB		-12 -24
FX	Level	-	Bus 4		Solo	
Scenes	-30.0 dB		Bus 5 Bus 6	AFL	3	Clip +12
Recorder	Frequency		Bus 7 Bus 8	PFL Trim		-12
Monitor	1.00 kHz	.0	Master L&R	-20.0 dB		-24 -38

 Oscillator (オシレーター):システムテストや調整などに使用します。 On/Off: オシレーターを入切りします。 Type:3種類の波形 (ホワイトノイズ、サイン波、ピンクノイズ)を選択できます。 Level: タッチノブ、またはコントロールノブにより-8dB~0dB (初期値 30dB)の 範囲でオシレーターのレベルを調整します。 Frequency: タッチノブ、またはコントロールノブにより 10Hz~20KHz (初期値 1KHz)の範囲でサイン波の周波数を設定します。 Destination: プッシュしてオシレーターを加えるバスを選択します。

② Monitor/Phones: ヘッドホンとモニタースピーカーのボリュームを調整します。 フロントパネルにヘッドホン端子、バックパネルにはモニタースピーカー用端子が あります。

Level: タッチノブ、またはコントロールノブにより-8dB~0dB(初期値-20dB)の 範囲でヘッドホンのボリューム・レベルを調整します。 Mute: ヘッドホンとモニタースピーカーをミュートします。このとき「Mute」

レベルメーター:モニター出力のレベルを表示します。

ボタンは赤く点灯します。

③ Solo: 「Solo」ボタンを押したチャンネルのみモニターすることができます。他の チャンネルは全てミュートされます。

AFL/PFL: AFL モニター、または PFL モニターを選択します。

Trim: タッチノブ、またはコントロールノブにより-8dB~0dB(初期値-20dB)の

範囲で AFL/PFL のゲインを調整します。 レベルメーター: Solo で選択したチャンネルのレベルを表示します。

WiFi 設定

iPad WiFi コントロールの設定を行います。

USB ドングル WiFi アダプターが本体コンソールパネルの USB 端子に接続されていることを 確認してください。

Classic Pro				1980/03/17 22:27:46	
Setup		Wi-Fi			
Patch	Wi-Fi		AP Hotsp	ot	
Meter	FreeInformation		OFF		Save
FX	÷	Forget	SSID		
Scenes			Password		
Recorder		Connect	T dosword		
Monitor					

- ① フロントパネルの「Setup」ボタンを押してセットアップ画面を開きます。
- ② 「SetupWiFi」ボタンを押して WiFi セットアップ画面を開きます。

WiFi モードログイン

使用する場所にある WiFi ルーターに接続します。

ClassicPro			1980/03/09 19:56:12
Setup		Wi-Fi	
Patch	Wi-Fi		AP Hotspot
Meter	FreeInformation ?		OFF Save
FX	ج	Forget	
Scenes	(* (*	Connect	Password or .
Recorder	(° (°		
Monitor			

- ① WiFi ON ボタンを押して接続可能な WiFi ネットワークを表示します。
- ② 接続する WiFi ネットワークを選択します。
- ③ 「Connect」ボタンを押し、パスワードを入力してWiFiネットワークに接続します。

AP モードログイン

使用する場所に WiFi ルーターが無い場合、ダイレクトモードで接続することができます。

- AP | Hotspot ON ボタンを押すと SSID が表示されます。 初期設定: SSID DM20。
- ② iPad 側の WiFi 設定から SSID DM20 を探して接続します。
 ※Password 設定を On にした場合、iPad 側から接続するときパスワードを入力する
 必要があります。任意のパスワードを設定して ON にします。
- ③ SSID とパスワードは変更することができます。変更した場合、必ず「Save」ボタンを 押してください。

設定			Wi-Fi		
iPad	の設定を完了する	>	Wi-Fi		
₽	機内モード	\bigcirc	✓ DM20 安全性の低いセキュリティ	· ()	
?	Wi-Fi	DM20	ネットワークを選択		
*	Bluetooth	オン	DM20	(i)	
(«†»)	モバイルデータ通信		₽ 중	<u>(</u>)	
୍ବ	インターネット共有	オフ	ê 🗧	(i)	
	キャリア		ê ?	()	
			その他		
	通知				
	コントロールセンター		接続を確認	\bigcirc	
C	おやすみモード		接続したことのあるネットワークに自動的に接続します。接続 のあるネットワークが見つからない場合は、確認メッセージを から新しいネットワークに接続します。	ったこと 表示して	
1					
	X				
AA	画面表示と明るさ				
*	壁紙				
((۱)	サウンド				
	Siriと検索				
	Touch IDとパスコード				
	バッテリー				
	プライバシー				

iPad 側の設定。SSID が DM20_56a887、パスワードが無い場合の例

アプリケーションをダウンロード

iPad の App Store から Classic pro dm20 を検索してダウンロードします。



DM20 remote App を開きます。

		MQ-Touch	
			Select Mixer
Name	Console		Console
IP Address	10.168.1.236	Scan	Console
L		Delete	Console
			\bigtriangledown
		_	
	Offline Demo		Connect

- ① 「Scan」ボタンを押します。DM20が見つかるとConsoleという名前が表示されます。
- ② Console を選択し「Connect」ボタンを押して接続します。
 ※必要に応じてミキサーの名前を変更することができます。この場合、表示されている IP アドレスを記録しておいてください。
- ③ 接続されるとコンソールが開きます。





保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障について は、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期 間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに 該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

- 1. お取扱い方法が不適当(例:ボイスコイル焼けなどの故障等)なために生じた故障の場合
- 2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
- 3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
- 4. 天災(火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等)による故障及び損傷の場合
- 5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
- 6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
- 7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合(例:発電機などの使用による異常電圧変動等)
- 8. 消耗部品(電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等)の交換が必要な場合
- 9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合(例:スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等)
- 10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良 ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号 が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担に て、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号(返品承認番号)

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記して下さい。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんので ご了承ください(お客様のご負担の場合はどの便でも結構です)。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から 生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関し て、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切 の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。



O2018 Sound House Inc.